

SNW 対話イン福井工業大学 2022 事後アンケート集約結果

□ 学生の性別、専攻・学年と希望進路(アンケート総数 11)

区分			人数
性別	男性		11
	女性		0
専攻・学年	修士	1年	2 (18%)
	学部(原子力技術応用工学科)	4年	3 (27%)
		3年	4 (36%)
		2年	2 (18%)
希望進路	就職	原子力	4 (36%)
		核燃サイクル	1 (9%)
		廃棄物処理	1 (9%)
		交通・IT	1 (9%)
		未定	1 (9%)
	進学	未定	3 (27%)
人数計			11

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

区分	人数
(A)とても満足	7 (64%)
(B)ある程度満足	3 (27%)
(C)やや不満	1 (9%)
(D)大いに不満	0
計	11

理由

- A・新しい知見が得られた。(4)
- ・自分の分からない点を聞くことができたから。(5)
 - ・今までの復習及び勉強になったから。(7)
 - ・知らないことを知れたから。(8)
 - ・知識が深くなったから。(9)
 - ・自分の分からない所が、しっかり聞けたので良かった。(10)
 - ・学年や所属を超えた意見交換ができた。(11)
- B・分かり易い資料だったから。(2)
- ・アクシデントがあって少し不満があったが、それ以上に良い知見が得られたため。(6)
 - ・記載なし。(3)

C・時間が短かったため。(1)

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

区分	人数
(A)とても満足	8 (73%)
(B)ある程度満足	2 (18%)
(C)やや不満	1 (9%)
(D)大いに不満	0
計	11

理由

A・新しい知見が得られたから。(2)

- ・気兼ねなく質問することができたから。(4)
- ・記載なし。(5)(10)
- ・とても説明が分かりやすく、今後の原子力業界を知ることができたから。(6)
- ・他人の考えていることを話されていたから。(7)
- ・前もって知っていた知識と知らないことのバランスが良かったため。(8)
- ・知識が深くなったから。(9)

B・貴重な話をいただいた。(3)

- ・事前に説明されていた新規規制基準メインの話からは少し外れたので、事前の考えは余り話せなかったが、原子力の持続的な活用など新たな方面の話を聞いたから。(11)

C・時間が短いため、話が進みにくかった感じがある。(1)

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？その理由は？

区分	人数
(A)十分聞くことができた	5 (45%)
(B)ある程度聞けた	5 (45%)
(C)あまり聞けなかった	1 (9%)
(D)全く聞けなかった	0
計	11

理由

A・記載なし。(4)(5)

- ・気になることを聞いたから。(8)
- ・時間がたっぷりあったため。(9)
- ・記載なし。(11)

B・ある程度聞くことができ、理解が深まったから。(1)

- ・事前資料がある程度あったのでそれを聞いたから。(2)

- ・最後に対話する時間を頂けた。(3)
- ・記載なし。(7)(10)

C・時間が短くタイミングを逃してしまった。(6)

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？(複数回答可)

区分	件数
(A)新しい知見が得られた	10 (59%)
(B)マスコミ情報と対話会情報の違いがあった	4 (24%)
(C)自分の将来の進路の参考になった	3 (18%)
(D)教育指導の参考になった	0
(E)新しい知見は得られなかった	0
(F)その他(具体例、)	0
計	17

- (A)新しい知見が得られた。(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(9)(10)(11)
- (B)マスコミ情報と対話会情報の違いがあった。(4)(6)(8)(10)
- (C)自分の将来の進路の参考になった。(2)(6)(9)
- (D)教育指導の参考になった。
- (E)新しい知見は得られなかった
- (F)その他(具体例、)

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

区分	人数
(A)非常にある	9 (82%)
(B)ややある	2 (18%)
(C)あまりない	0
(D)全くない	0
(E)どちらとも言えない	0
計	11

理由

- A・日本のエネルギー、原子力、放射線の過去と現在を知っている方々から教わる機会は、学生にとって貴重であり、今後の日本のエネルギー、原子力、放射線の世界で大きく活躍する上で必要不可欠だと考えます。(1)
- ・興味深い話が聞けたから。(2)
- ・学生にない知見を知れたから。(4)
- ・様々なキャリアを積んだ方々から様々な知見が得られるため。(6)
- ・知らない知識を知ることができたから。(7)
- ・経験談を聞くことができるから。(8)

- ・記載なし。(9)(10)
- ・学外の人や他学部の人達と交流する機会が少なく、様々な意見を聞けるから。(11)

B・記載なし。(3)(5)

(6) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？その理由は？

区分	人数
(A)勧めたいと思う	9 (82%)
(B)勧めたいとは思わない	0
(C)どちらとも言えない	2 (18%)
(D)その他	0
計	11

理由

A・今の日本のエネルギー、原子力、放射線を知る上でもっとも重要であるから。(1)

- ・一度くらいは参加した方がいい。(2)
- ・人が増えれば交流も増える。(4)
- ・記載なし。(5)(6)(9)(10)(11)
- ・良い体験ができると思うから。(8)

C・記載なし。(3)

- ・本人のやる気によるものだと考えているから。(7)

放射線、放射能に対して伺います。(複数回答可)

区分	人数
(A)やはり怖い	0
(B)恐れる必要はない	5 (36%)
(C)理解できた	3 (21%)
(D)生活に有用	6 (43%)
計	14

(A)放射能はやはり怖い。

(B)一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。(3)(4)(6)(8)(10)

(C)一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。(7)(10)(11)

(D)放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。(1)(2)(5)(7)(9)(11)

□ 原子力発電に対して伺います。

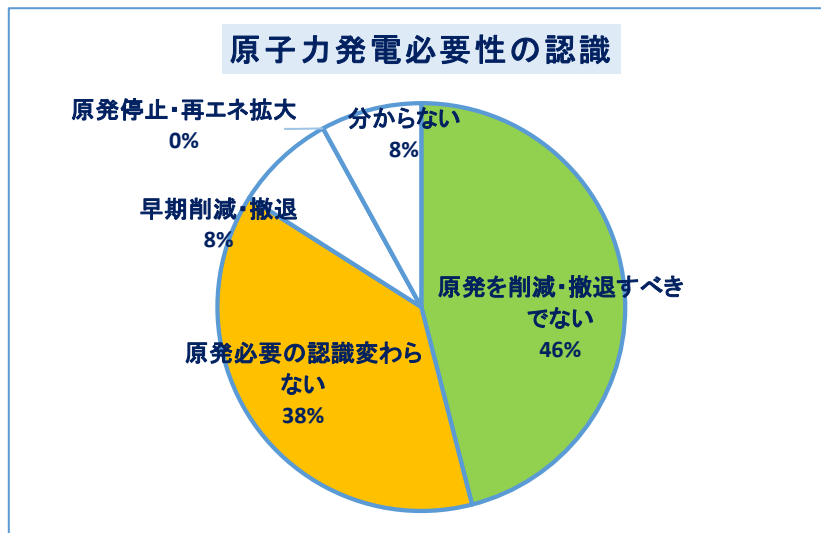
第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の講演も踏まえあなたの認識は次のどれですか？その理由は？

区分	人数
(A)強く認識／削減・撤退すべきでない	6 (46%)
(B)原発必要の認識は変わらない	5 (38%)
(C)原発を早期に削減・撤退すべき	1 (8%)
(D)原発停止・再エネ拡大	0
(E)分からない	1 (8%)
計	13

- (A)原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。(1)(4)(5)(7)(9)(10)
- (B)原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった。(2)(6)(7)(8)(11)
- (C)原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。(10)
- (D)原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
- (E)どうすればよいかよく分からない。(3)

理由

- A・日本で数少ない発電方式であり、エネルギーの選択肢を減らしてはいけないから。(1)
- ・経済性やコストの兼ね合いの難しさが分かりました。(4)
 - ・記載なし。(5)(10)
 - ・原子力は日本のエネルギー源になるから。(7)
 - ・やはり日本のエネルギー自給率は上げるべき。(9)
- B・記載なし。(2)(6)(11)
- ・原子力は日本のエネルギー源になるから。(7)
 - ・再エネだけでは足りないと思うから。(8)
- C・記載なし。(10)
- E・どちらのメリット、デメリットも重要なため。(3)



□ エネルギーについて伺います。

我が国は世界と歩調を合わせ 2050 年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルをエネルギー政策の柱としています。一方、最近のウクライナ侵攻に対するロシアからの石炭、石油、天然ガス輸入停止制裁により価格が高騰し、エネルギー供給も懸念されています。とりわけ国土狭隘、資源小国の我が国においては再エネも限界があり電力の安定供給が懸念され、現在でも停電の危機が報じられています。このような状況を踏まえ、2050 年カーボンニュートラル政策(脱炭素政策)と世界的エネルギー危機についてお考えをお聞きします。

(1) 2050 年カーボンニュートラル政策は必要と思いますか？その理由は？

区分	人数
(A) 必要であり、実現可能である	5 (45%)
(B) 必要であるが、実現するとは思えない	6 (55%)
(C) 必要ない	0
(D) わからない	0
計	11

理由

- A・他国または近くの国での情勢が不安定になっても、自国でエネルギーを確保する上で必要だと考える。(1)
- ・記載なし。(2)(5)(9)(10)
- B・発展途上国との関係や技術上でそう思う。(3)
- ・環境を考えるとカーボンニュートラルには取り組むべきだが、経済やコストのしがらみから実現は難しいと思う。(4)
- ・CO2 排出の大元は中国とアメリカであるため、日本だけが頑張っても仕方がない。(6)
- ・実際に石炭・石油をカットすると電力不足が起きそうだから。(7)

- ・原発稼働に反対している人が多いため。(8)
- ・記載なし。(11)

(2) 世界的なエネルギー危機についてどのように認識していますか？その理由は？

区分	人数
(A) 大変厳しい状況である	4 (36%)
(B) 厳しい状況である	5 (45%)
(C)それほど厳しいとは思わない	0
(D)わからない	0
未記入	2 (18%)
計	11

理由

A・記載なし。(2)(6)

- ・ロシアがエネルギー源を輸出しないことで、世界のエネルギー不足が激しくなっているから。(7)
- ・人口増が止まらず、IT化の進行によってあらゆる分野で消費電力が増えると思うから。(11)

B・日本では、他国の影響を大きく受けることがあるため。(1)

- ・人口が増え続けるため。(3)
- ・目に見えてエネルギーに困っている訳ではないが、確かにエネルギー資源は少なくなっている。どうにか手を打ちたい。(4)
- ・先進国と途上国で差があるように感じるから。(8)
- ・記載なし。(9)

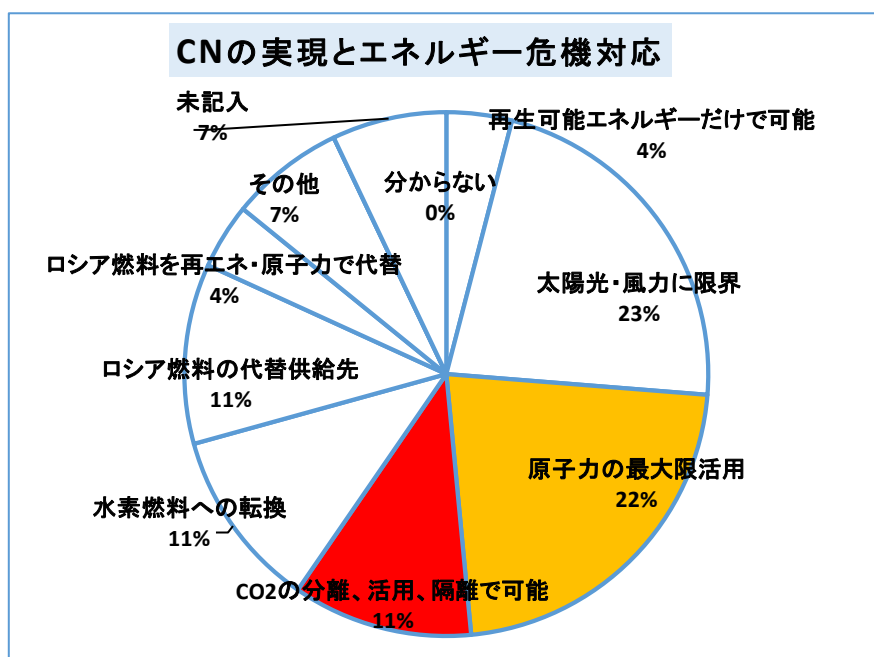
未記入。(5)(10)

(3) わが国として 2050 年カーボンニュートラルの実現とエネルギー危機への対応はどうしたらよいとお考えですか？その理由は？(複数回答可)

区分	件数
(A) 再生可能エネルギーだけで可能	1 (4%)
(B) 不安定な太陽光や風力には限界がある	6 (22%)
(C) 原子力を最大限活用すれば可能	6 (22%)
(D) 排出される二酸化炭素の分離、活用、隔離をすれば可能	3 (11%)
(E) 水素燃料などへの燃料転換により可能	3 (11%)
(F) ロシアからの燃料の代替供給元を探す必要がある	3 (11%)
(G) ロシアからの燃料は再エネと原子力で代替できる	1 (4%)
(H) その他	2 (7%)
(I) わからない	0
未記入	2 (7%)
計	27

理由

- ・H／今あるすべての発電方法が必要である。(1)
- ・BDH／原子力だけでなく、次世代エネルギーとして核融合研究を進めることが重要。(2)
- ・B／カーボンニュートラルは完全にはならないと思う。(3)
- ・BCDEF／記載なし。(4)
- ・未記入。(5)
- ・C／ただでさえ電力事情の厳しい日本で選り好みをしている場合ではないため。(6)
- ・ABC／原子力発電を稼働し、核燃料サイクルを成り立たせればよい。(7)
- ・BCDE／記載なし。(8)
- ・BCFG／記載なし。(9)
- ・未記入。(10)
- ・CEF／カーボンニュートラルに重点を置くのであれば、原子力と水素の活用は必要である。(11)



□ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

区分	人数
自由記述	4 (36%)
未記入	7 (64%)
計	11

自由記述

- ・原子力利用の必要性と、それをいろいろな方々に理解していただくことが重要だと再認識できた。(2)
- ・貴重な機会をいただき、ありがとうございました。(3)
- ・非常に有意義な講義でした。リモートよりも良かったです。(4)
- ・少し先を進んでいる同学年の生徒やシニアの方々の様々な意見を聞くことができる良い機会

であった。自分の今後の考え方の一助にできそうと感じた。(11)

未記入

(1)(5)(6)(7)(8)(9)(10)

以上